

1 この科目の構成について

教 科	国語科	科 目	古典	単 位	2単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	3年7組		
使用教科書	精選 古典（大修館書店）				
使用副教材	完全傍訳 やさしくくわしい古典文法（尚文出版） 重要 古文単語315（桐原書店） 基礎 古典（古文・漢文） 改訂版（尚文出版）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
2年次から引き続き、既習の文語文法を使いこなして、古文・漢文を講読する能力を養います。2年次に学習した教材よりも、長く、難解な古文も講読します。大学入試にも対応できる読解力を養っていくことが目的です。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
以下の二つの分野を学びます。 （１）古文…既習の文語文法を使って、古文を読み解く力を身につけます。 （２）漢文…既習の訓読法・基本的な句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（１）授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「型」を授業で体得してください。 （２）家庭学習の時間は、授業の予習と古典単語の暗記にあててください。知識を定着させる場、それが家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考する、この関連こそが最も合理的な学習方法となります。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
（１）定期考査→年４回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。 （２）確認演習プリント→単元毎に本文内容のプリントを実施します。 （３）学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。	
評価における定期考査の割合	
70 %	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（１）関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。	
（２）思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。	
（３）技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。	
（４）知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。	

5 この科目の学習計画について（3年情ビ）

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
1	4	古今著聞集 『源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと』		本文の読解を通じて、古文特有の語を理解し、合わせて必須の文法事項の習得を目指します。中世に作られた説話の魅力に触れ、現代まで読み継がれている要素やそれが生み出された背景などについても考え、古典文学に一層親しむ態度を育てます。				●	●	●	●
	5	逸話と寓話 『長安何如日遠』		漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。 道徳教育を実施				●	●		●
	6	枕草子 『うれしきもの』		作者作品に関する文学史的な知識を深め、古文の読解力や鑑賞力を高めます。類集的段章段の「もの」型章段として、作者が列挙した内容をつかみ、現代でも共感できるものが多いことに気づき、多様な語句の解釈や、女流作家ならではのきめ細やかな感覚的な表現を理解し、作者の考えや心情の理解を目指します。				●	●	●	●
	7	漢詩 『飲酒』		古体詩について理解を深めます。人生の哀歓や苦悩、社会に対する鋭い省察などを盛り込んだ漢詩を通じて、そこに込められた作者の心情や時代背景など、様々な角度から漢詩に親しむ態度を育てます。				●	●	●	●
	8	『子夜呉歌』		また作者自身の生き方などにも思いを馳せ、生徒のものの見方、考え方を深める契機とします。							
	9	方丈記 『行く河の流れ』		同じ随筆である、既習の『徒然草』とは異なり、より深みを目指している鴨長明の求道的視点を理解します。そして、その真摯さと深刻さを読みとり、理解します。 道徳教育を実施				●	●	●	●
	10	文章 『師説』		文章の構成や展開を正しく理解し、作者や作中人物の、人間や社会に対する考え方や感情を的確に読み取り、自分のものの感じ方を豊かできるように学びます。 道徳教育を実施				●	●	●	●
	11	風姿花伝 『因果の花』		評論を学習し、日本独自の伝統的な文芸に対する理解を深めます。				●	●	●	●
	12	文学史 古典常識		文学史・古典常識に関する学習も行い、これまでの古典学習の集大成とします。						●	●
3	1										